



# 三潑保育園 園だより

July 2022



## クラス目標 ~1か月大切にしたいこと~

### たんぽぽ組

- ・水遊びやどろんこ遊びを通して、水や泥の感触を味わいながら遊ぶことを楽しむ。
- ・安定した生活リズムの中で暑い夏を健康で快適に過ごす。

### もも組

- ・夏季の気候や衛生に配慮して、ゆったりと心地よく過ごす。
- ・水遊びや寒色遊びなど、夏ならではの遊びを伸び伸びと楽しむ。

### ばら組

- ・友達や保育者と関わりながら、様々な夏の遊びを楽しむ。
- ・身の回りのことを自分でしようとする気持ちを持つ。

### うめ組

- ・夏の事象や活動に興味・関心を持ち夏ならではの遊びを思い切り楽しむ。
- ・自分の気持ちを伝え合い、関わりを深めながら遊ぶ楽しさを経験していく。

### すみれ組

- ・この時期ならではの水遊びやプール遊び、虫とりなどを思い切り楽しむ。
- ・暑い夏を健康に過ごすために清潔に留意し、快適な生活が送れるようにする。

### ゆり組

- ・季節の行事を通して、異年齢児や他クラスの保育者との関わりを楽しむ。
- ・夏ならではの遊びを友達と工夫したり試したりして、言葉を交わしながら思い切り楽しむ。

こんなに早い時期から、これほど暑いなんて・・・毎日そう思いながら、ジリジリと照り付ける太陽の下で、焼かれる今日この頃。そんな中、夏のお楽しみのプールも始まりました。子ども達は登園するとすぐさま、水着自慢から始まり、タオルを広げて見せてくれたり、スイムキャップを用もないのに朝から試しにかぶってみたり。子ども達がいかにプールを楽しみにしているかが分かります。小さいクラスの子ども達もほとんど怖がることなく、水に親しんでいるようで、キャッキヤと聞こえる声が戸外から聞こえてきます。

さて、新年度が始まって3か月が経ちました。たった3カ月なのに、4月に泣き顔を見せていた新入園の子ども達も、すっかり保育園を自分たちの居場所だと感じてくれているようで担任達も嬉しく感じています。同世代のお友達は小さなやり取りの中で少しずつ互いに成長しているので、しゃべれはしないものの、「あ、あの子、立った！」って思って「ちょっと頑張ってみよう！」と芽生えたりして意欲につながってたりします。

さあ、そして7月7日には今年初めてご家庭の皆様を招いての保育参観の予定です。午前中は子ども達とスタッフとの時間。うめ組・すみれ組・ゆり組の子ども達は異年齢ミックスのグループで普段とは違う先生と思いっきり楽しいことをする予定です。

そして、夕方はご家族と一緒に過ごす時間。大きなことはまだ中々できませんが、ほんのひととき保育園で共に楽しく笑いあえたらと思います。小さなクラスは笹飾りを作ってみましたとおもいます。そして、うめ組、すみれ組、ゆり組は4月からこれまでの中で体験したこと、考えたことの延長線としての活動です。「この日の為に！」というよりも、今までこんな日々を過ごしてきたんだ！という紹介が出来たらと思っています。

夏の始まり。コロナを恐れすぎず、やりたいことをやっしまえ！の気持ちで子ども達の気持ちを大切にしながら、安全に遊んだり体験したりの季節を堪能したいと思います。

是非、ご家族の皆様にもご協力いただくこともあると思いますが、よろしくお願いします。

國友 裕子

## 7月の行事予定

- 7日(木) たなばた保育参観  
**お弁当の日**
- 11日(月) 避難訓練
- 19日(火) **お弁当の日**
- 27日(水) お誕生会

### 長野しょうこさん。産休！

3人目のお子さんを産んで、さらにたくましくなって戻ってくる予定です。



## 新メンバー

### 永野みかさん

保育士資格を目指して勉強中！  
ばら組にいます。  
韓国好きすぎて  
留学経験あり。



### 佐藤みちこさん

給食室にいます。  
5人のお母さん。  
スイーツづくりなら  
任せて！



## 子どもの成長を定点観測してみて

去年の夏も「ウキウキ☆（ほし）まつり」と子ども達が名付けて、七夕を過ごしました。午前中は子ども達が考えたゲームやお楽しみで、目いっぱい楽しみました。その日に向けての準備は、もちろん子ども達が進め、その時のことは去年の園だよりもコラムにしたのですが、今回は年長・ゆり組の様子にフォーカスを当て、昨年からの変化を語り合ってみました。

—今回の七夕ジャンボリーも、1年前と同じように、  
子ども達が当日に向けての準備をしているけれど変化はある？

（佐倉）そうですね。素材を選ぶとか、組み立てるとか、自分達で考えてやっていますね。例えば、「水に浮かべてすくう」ゲームを考えているんですが、「水に浮かばせたい」ことを重視して大人はプラスチック製とか選んで工作したいけれど、子ども達は紙製の素材を用いて真剣に作ってます。見守っているほうは、当日浮かばなかったら？って一瞬頭に浮かんでしまうけれど、子ども達は工夫しながら作っているの。

去年と違うなって感じるところは「道具の使い方が分かってきている」事は大きいかもしれません。ハサミなんかも器用に使えるようになったので、大人に頼らずに自分達でスムーズにすすめられるようになったと思います。使い方もそうですけど、知恵がついてきたっていうか、自分達で考えて今までの知識を活かして解決しようとするっていうのかな。

それに、大人がやっているのを見て、自分でチャレンジして同じようにやってみよう、という意欲が去年とは違うかもしれません。集中力もついてきましたね。

あーでもない、こーでもない！と話すこともあるけれど、1人黙々と集中して作業する姿が多くみられるようになりました。



普段、集中することが難しい子どもも自分がやり遂げたい！と思ってるからか、かなり没頭していましたね。途中で作業が終わっても、あとから「続きやらなくちゃ」って言って、やりたがったりしていたのが新鮮でした。

（理沙）そうですね。うちのチームもそうだった。今年は誰かを見て、真似てやってみる、自分なりに習得してやり遂げるというプロセスが目立っていました。黙々と作業をしていましたね。

時には決めていた目標の物を作る事をやめたけれど、方向転換して工夫していたりとか。それに、「どうしたらいい？」と担任にたずねたときに「〇〇ちゃんに聞いてみたら？」という聞いて教え合う姿もありましたね。

（弥生）私のチームは、物を作るというより想像するという事からスタートする内容でした。「雨」というワードから子ども達の言葉を紡ぎながら物語を作っていました。やっぱり実体験から湧き出てくる言葉が沢山あって。一人の子の「ねえ、水たまりには顔が映るよね！」の発言で、他の子ども達も次々に言葉が出てきたり。恐竜の話もあるんですが、架空の想像が壮大に広がっていきました。

そういうことを通じて思うのは、お互いに話し合ったりすることや自分の考えを表現できたりしている事を実感します。

その次のステップとして絵本にしたんですが、架空の話を絵にするって難しいと思うのですが、それもお互いに話をしながら描いていましたね。

折り合いをつけたり、他の子の意見を受け入れて同意したりが上手になってきたんだと思います、互いに話をするを大切にしているから、かなあ。

七夕まだまだ準備があるけど楽しいですよ。

